

**製品名: WAS マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81403**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WAS
別名	THC; IMD2; SCNX; THC1; WASP
遺伝子 ID	7454.0
SwissProt ID	P42768
免疫原	大腸菌で発現したヒト WAS (AA: 57-170) の精製組換え断片。

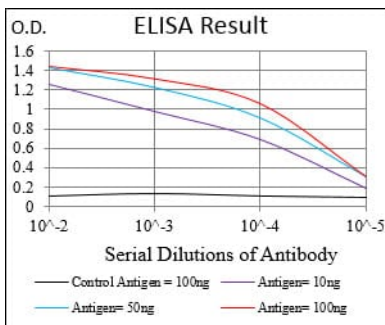
**背景**

ウィスコット・アルドリッチ症候群 (WAS) タンパク質ファミリーは、類似したドメイン構造を共有し、細胞表面の受容体からアクチン細胞骨格へのシグナル伝達に関与しています。多数の異なるモチーフの存在は、これらのタンパク質が多数の異なる刺激によっ

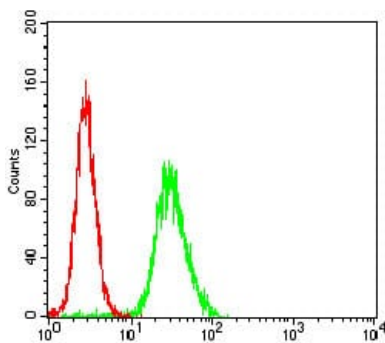
で制御され、多数のタンパク質と相互作用することを示唆しています。最近の研究では、これらのタンパク質が、アクチンフィラメントの形成を制御することで知られる低分子量 GTPase Cdc42、および細胞骨格形成複合体 Arp2/3 と直接的または間接的に関連することが実証されています。ウィスコット・アルドリッチ症候群は、免疫調節異常および微小血小板減少症を特徴とするまれな X連鎖劣性遺伝性疾患であり、WAS 遺伝子の変異によって引き起こされます。WAS 遺伝子産物は細胞質タンパク質であり、造血細胞でのみ発現し、WAS 患者でシグナル伝達および細胞骨格の異常を示します。代替プロモーターの使用の結果として生じ、異なる 5' UTR 配列を含む転写バリエーションが記述されていますが、その完全長の性質は不明です。

## 研究分野

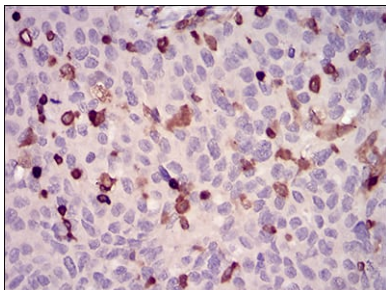
## 画像データ



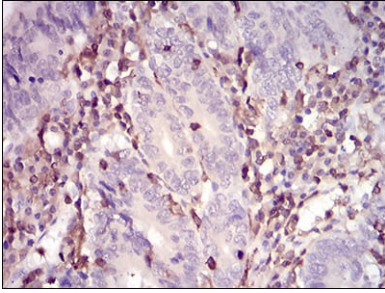
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



WAS マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



WAS マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



WAS マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。